

明日の小山田を考える会の目的は、住んで良かった・ずっと住み続けたい・住み良い地域を創ることです。そのためには、地域の皆さんの積極的な関わりが必要です。

奥州宇宙遊学館で宇宙を学ぶ



7月26日、教育振興部「ハンドメイド交流事業」として、奥州市にある「奥州宇宙遊学館」を訪ねて来ました。この施設は国立天文台水沢VLBI観測所の本館として1966年まで使用されていた建物で、現在は宇宙に関する様々な展示室や宇宙シアターなどがあり、宇宙の事を学ぶ施設となっています。施設のスタッフから宇宙観測に使われた機材や実際に使われた宇宙衛星の説明、太陽系惑星の重力の体験を行い、宇宙の不思議を学びました。その後、スタッフの指導でワークショップ「万華鏡づくり」を行いました。ちょっと難しい作業もありましたが、完成後はそれぞれの万華鏡を交換しながらのぞき、回転するたびに変化する模様感動していました。なお、国立天文台水沢は、明治31年（1898年）に国際測地学協会が「国際緯度観測事業」として北緯39度8分の線上の世界6ヶ所に世界共同の緯度観測所が置かれ、日本では水沢が選ばれ、翌32年に開所して以来、大戦中も水沢の観測所だけは休むことなく観測を続け、緯度・経度の観測に加え、総合的な天文学研究を行ってきたそうです。岩手県には世界に誇れる場所があるんですね。



暑さを吹き飛ばすようなプレー続出



7月19日、教育振興部「第1回グラウンドゴルフ大会」が開催され、猛暑日が予想される中、参加者20名は汗を流しながらのプレーとなりました。開会式の段階で既に熱中症が懸念される事から、2周目が終わった時点でスコアリーダーによる今後のプレーについて継続か中止かの判断をすることとしておりましたが、参加者の競技に対する熱意が高く、続行との判断となりました。体調が心配な方は大事を取り3周目は19名での競技となりましたが、体調を崩す方もなく無事に終了することができました。成績は次のとおりとなります。第2回大会は以前から要望があった、町井親水公園に場所を変えて開催したいと考えております。

グラウンドゴルフ大会成績表

- 優勝 小田嶋 敏夫 (前 田)
- 準優勝 菊池 成俊 (中川目)
- 第三位 菅原 テツ (前 田)
- 第四位 菅原 秋代 (前 田)
- 第五位 浅沼 美千江 (中川目)



町井親水公園に場所を変えて開催したいと考えております。

今年もスタートしました!! part II

教育振興部「かけっこ教室」の3・4・5回目を7月5・12日と8月2日に開催しました。7月5日は日居城野陸上競技場を予定してましたが、天候が心配されることから振興センターに変更して開催しました。室内練習という事で陸上競技でのスタートの姿勢など基礎的なトレーニングとゲームを取り入れたトレーニング内容でした。7月12日と8月2日は真夏日という事でいつもより休憩時間を多く取りながら、旧小山田小学校グラウンドで開催しました。今年も短距離の学習の初日と最終日にそれぞれ50mのタイム測定を行い、一人ひとり5回のトレーニングの成果を確認しました。毎年参加している児童は、年々縮むタイムに満足気な笑みを浮かべているようでした。

7/5 小山田振興センター



7/12、8/2 旧小山田小学校グラウンド



いつまでも元気に地域の皆さんと



鹿踊り部の皆さんとの記念写真

8月5日から今年度の生活環境福祉部「にこにこサロン」が年5回の開催でスタートしました。初回は湯本在住の冨手京子さんによる3B体操と、花巻農業高校鹿踊り部による「鹿踊り」の演舞を観賞しました。鹿踊りは、鹿をかたどった頭（かしら）をかぶって勇壮に踊り、狩猟で犠牲になった鹿の供養、五穀豊穡（ごこくほうじょう）、天下太平を祈願する伝統芸能なそうです。当日は、5名の部員が神の使いとされる鹿になりきり、頭を振りながら踊り、謡い、激しく太鼓を打ち鳴らしてくれました。太鼓などを含め総重量15kgの装束をまとって演舞するという事で、サロンに参加した皆さんは「間近で観れて大変良かった」と口々に話していました。2回目の9月2日は花巻市長寿福祉課理学療法士の晴山弥子さんと管理栄養士の小田島あかりさんによる体組成測定による筋力や骨量などのチェックと食事バランスについて指導を受けました。

8月5日 3B体操と鹿踊りの鑑賞



9月2日 体組成測定と食事バランス



6年振りの戦いに白熱した試合



優勝した第2行政区の選手の皆さん

8月15日、6年振りの開催となった総務部「行政区対抗ソフトボール大会」は気合いの入る熱い戦いが繰り広げられました。早朝5時前から降り出した雨も1時間程ですっきり止み、旧小山田小学校のグラウンドの土を少し和らげてくれ絶好のグラウンド状態となりました。9時から開会式を行い、前回優勝の第2行政区 浅沼佑耶さんの選手宣誓後、試合開始となりました。1回戦目から1点を争う白熱した試合もありました。下は小学5年生から上は74歳と幅広い年代層の多くの皆さんが選手として参加し、世代を越え、和気あいあいとした素晴らしい大会となりました。順位は次の通りです。



- 優勝 第2行政区
- 準優勝 第1行政区
- 第3位 第3行政区
- 敢闘賞 第4行政区



キッチンカー登場! 「ピザ焼き体験」



8月9日に東和町小友にある「やなのうえプロジェクト」の高橋典人さんが営むキッチンカーをお招きし、教育振興部・ママカフェ事業「ピザ焼き体験」を開催しました。4組11名の親子が参加し、焼き上



げるまでの手順を高橋さんから説明してもらい、いざ調理開始! 最初に野菜やハムなどのトッピングの材料を刻みました。未就学児もいましたが、お母さんの手を借りながら上手にカット。続いて、米粉で出来たピザ生地にピザソースや味噌マヨソース、カレーソースなど好みのソースを塗り、先に刻んだ野菜を散りばめ、最後はチーズをたっぷりのせてキッチンカーのオーブンで焼きあげて完成となりました。香ばしいにおいの焼きたてピザを試食し、皆さんあふれんばかりの笑みを浮かべていました。参加した親子からは「説明が分かりやすく、自分なりのピザが焼きあがった」、「楽しみにしていたし、子どもと一緒に体験出来て良かった」などと話していました。今回使用した味噌マヨソースは東和中学校の生徒さんが考案したそうですよ♥



＝ 令和 7 年度の市政懇談会が開催されました ＝



7月23日に小山田振興センターにおいて令和7年度の小山田地区市政懇談会が開催されました。当日は上田東一市長をはじめ、蛭田健次建設部長、菊池司福祉部長、藤井淳東和総合支所長など12名の市職員の方々が来所されました。当地区から懇談テーマとして事前に、①今後の総合花巻病院について、②人口減少に伴う対応について、③民生・児童委員の推薦に関することについて、3つのテーマを提出し、担当部署からそれぞれご回答をいただきました。今回はパワーポイントやリーフレットを用いての説明もあり、大変分かりやすい回答をいただきました。民生・児童委員の推薦について、他の地域でも問題視されており、1)高齢者の就労率の上昇。2)地域の高齢化。3)役割・内容・執務量などの負担など。以上のことにより担い手不足になっている。これに対し市としては、業務負担の軽減を図るため、一人暮らし高齢者等へ訪問による相談を行う「地域福祉訪問相談員」10名の配置、改選期ごとに地区割や定員の見直しを行っているとの事でした。そのほかのテーマの回答については改めてお知らせします。



パワーポイントを用いての総合花巻病院についての説明
(阿部・健康こども部長)

民生・児童委員の推薦について説明 (菊池・福祉部長)



熊の出没について質疑
下坂淳代さん



民生委員の業務について質疑
千葉良一さん

令和7年8月末現在

(): 前月比

小山田の人口	世帯数/戸	男/人	女/人	計/人
第1行政区	53 (0)	76 (0)	62 (0)	138 (0)
第2行政区	147 (0)	180 (0)	180 (0)	360 (0)
第3行政区	156 (1)	181 (0)	211 (0)	392 (0)
第4行政区	114 (0)	158 (0)	159 (0)	317 (0)
計	470 (1)	595 (0)	612 (0)	1,207 (0)

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています



コガネキヌカラカサタケ
(別名・お釈迦様のきのこ)
07.8.22撮影/振興センター

○この茸は、熱帯・亜熱帯原産で日本では奄美大島以南が自生地です。本土にはめったに自生していないそうです。今年は夏日や猛暑日の日が多いせいか、センターの花壇で見掛けました。「幸運の茸」と呼ばれ縁起がいいとされているそうですよ (^ ^)

～私のひとり言～ 今年80回目の終戦の日を迎えました。8月15日は日本がポツダム宣言を受諾し、昭和天皇による玉音放送(ラジオ)を通じて、国民に無条件降伏が伝えられ、第二次世界大戦が終結した日となっています。連合軍の占領下にあった1952年4月27日までの新聞では、9月2日を降伏の日としていたそうです。アメリカなど多くの国では、日本が降伏文書に調印した9月2日を終戦の日としています。皆さんは「終戦の日とは？」と聞かれた時どう答えますか。終戦の日は、第二次世界大戦が終わり、日本が再び戦争をしないと約束した日です。そして、戦争で亡くなった人々を追悼し、現在の平和への感謝と、これからも平和であるようにと願う日とされています。人同士が争っても何も生み出さないことをわかってるのに、いまだに歴史は繰り返されます。だからこそ、平和の大切さを痛感します。(菊池)

発行：明日の小山田を考える会・電話：0198-42-2941
ホームページ：http://www.asuno-oyamada.jp
メールアドレス：asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp

